

【講演録】

行政書士の実践知に学ぶ法学教育に関する 講演会の概要

櫻 庭 総

教育プロジェクト「地域の法実務家から学ぶ，法学を職業および地域貢献に活かす実践知教育」の一環として，2018年1月11日，行政書士の実践知に学ぶ法学教育に関する講演会を開催した。

講師には行政書士の丸田弘篤氏をお招きした。丸田氏は，行政書士の業務をする傍ら，ホームレス支援や地域合同労組の活動にも従事されている。このような幅広いご経験を踏まえて，「大学での勉強は“役に立つ”——使い捨てられずに生きていくためには——」という演題でご講演いただいた。

講演内容は，行政書士を目指したきっかけやホームレス支援に携わるようになった経緯など，ご自身の貴重な体験談がふんだんに盛り込まれたものであり，わかりやすく，かつ，説得力のあるものであった。なかでも，金儲けとは無縁の動機ではじめたホームレス支援活動が，めぐりめぐって思わぬ行政書士業での経費削減に繋がったという逸話を興味深く拝聴した。一見して目先の役に立たないような事柄が，思わぬところで自分の糧となっているという事実は，法学教育を考えるうえでも非常に示唆的である。

講演会には，経済学部教員・学生約30名が参加し，講演後は，講師と参加者とのあいだで活発な質疑応答が行われた。以下にそれらの内容をまとめた講演録を掲載する。なお，本講演会は，2017年度度局長裁量経費（チームプロジェクト・教育）の支援を受けて実施した。記して感謝する。

大学での勉強は“役に立つ”
使い捨てられずに生きていくためには

行政書士の仕事は様々です。
時にはホームレスの支援をすることも…!

大学での勉強が
実務にどう活かされるのか
具体例を交えてお話しします!!

1月11日(木)
時間：14:30-16:30
場所：山口大学 経済学部 C-201教室
講師：丸田 弘篤 (行政書士)